

新規事業採択時評価結果（平成18年度 新規事業化箇所）

担当課：道路局地方道・環境課  
担当課長名：柗屋 誠

事業の概要

事業名	主要地方道志布志福山線 (地域高規格道路 都城志布志道路)	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県志布志市有明町伊崎田 至：鹿児島県志布志市志布志町安楽			延長	3.6km
事業概要					
<p>・「都城志布志道路」は宮崎県都城地域（九州縦貫自動車道都城IC）と南九州唯一の中核国際港湾である鹿児島県の志布志港とを結ぶ延長約40kmの地域高規格道路である。</p> <p>・志布志港のコンテナ貨物取扱量は近年急速な伸びを示しており、志布志港の更なる整備と併せて陸上交通の充実に求められている。また、本計画区間は、平成16年3月に調査区間に指定された「有明町～志布志町間（約11km）」のうち平面線形及び縦断線形が悪く早急な整備が望まれている区間（約3.6km）であり、物流の効率化と併せて交通の安全を確保することを目的としている。</p>					
事業の目的、必要性					
<p>・志布志港では、平成11年以降、国際海上コンテナ輸送網の拠点港として、コンテナ貨物の取扱量が急速に増加（H16/H11=約17倍）している。また、同港で取り扱う貨物の約7割が、宮崎方面への貨物で占められ、県道志布志福山線の交通量も増加（H17/H9=1.2倍）していることから、2車線の自動車専用道路として整備し、円滑で安全な交通を確保する必要がある。</p> <p>・本路線は志布志港を発着する大型車が通ることから、大型車に関係する事故が多発しており、特に、本計画区間においては、縦断及び平面線形が悪く事故も多発している。その抜本的な対策が緊急の課題である。</p> <p>・本路線は、平成18年1月に合併した志布志市（松山町・有明町・志布志町）の骨格をなす道路であり、新市の一体化を支援する重要な役割を担う道路である。</p>					
全体事業費	74億円		計画交通量	14,700台/日	
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

・地方分権が進み地域間競争が激化する中で、農林水産物の安定供給や市場拡大、新たな産業の進出や誘致などには、高規格幹線道路や地域高規格道路の整備は必要不可欠であると考えている。

・これら高速交通ネットワークの整備スピードを落とさないためにも、平成18年度から事業着手し、厳しい財政状況ではあるが、重点投資やコスト削減等を図りながら早期完成を目指したい。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。（B/C=3.33）

円滑な事業執行の環境：沿線自治体や地元協議会から強い要望があり、整備促進に協力的である。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.33	総費用：62億円 （事業費：59億円 維持管理費：3億円）	総便益：206億円 （走行時間短縮便益：158億円 走行費用減少便益：40億円 交通事故減少便益：8億円）	基準年 平成17年
	事業の影響				
事業の影響	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	【渋滞損失時間の改善】 2.3(万人時間/年) 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 0.64(万人時間/年・km) 【その他の特徴】 縦断勾配が厳しいことから、大型車の速度低下による大型車の渋滞が発生している。	
	事故対策	○	【死傷事故率】 53.2(件/億台キロ) 【その他の特徴】 ・大型車混入率が高いことから、大型車の起因する交通事故発生が高くなっている。 ・過去4年間で、28件中8件(約3割)が大型車の交通事故		
	歩行空間	○	自動車専用道路である交通の転換を図ることで、県道志布志福山線の歩行者の安全を図ることができる。		
	社会全体への影響	住民生活	○	交通の隘路区間を整備することで、住民の円滑かつ安全な交通の確保、及び合併市町村間を結ぶ道路として住民の利便性が高まる。	
		地域経済	○	国際中核港湾として急速に発展する志布志港の陸上交通を支え、大隅地域の物流の効率化を図る。	
		災害	○	志布志福山線の代替道路としての機能を持ち、また、第2次緊急輸送道路でもある。	
		環境	○	大型交通の転換によるCo2や騒音の低減が図れる。	
地域社会	○	大隅地域の交通の円滑化や安全の確保により、地域産業の振興に大きく寄与する。			
事業実施環境	○	沿線自治体や都城市長が会長である「都城～志布志間地域高規格道路建設促進協議会」等から強い要望があり、整備促進に対して協力的である。			

採択の理由

費用対便益が3.33と便益が上回っていること、円滑な事業執行の環境が整っていることから事業採択の前提条件が確認できる。

また本事業の整備により、中核国際港湾である志布志港の更なる整備に併せて、志布志港で取り扱う貨物を南九州一円に効率的に運搬できることや、大型車関連事故の軽減が図られることから、地域経済への効果は高いと判断できる。

以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。